

生活リハビリセンター 六三四・雅たより



第18No.3

社会福祉法人 六三四

TEL 042-343-1895

FAX 042-346-0283

本部 ☎187-0042

東京都小平市仲町364番地1

生活リハビリセンター六三四 指定生活介護事業所番号 1313401018

生活リハビリセンター雅 指定生活介護事業所番号 1313401026

e-mail musashi@musashi1895.jp

HP-URL <http://musashi1895.jp/>

わたし ふくし で あ 私の福祉との出会い (その2)

社会福祉法人六三四 監事

社会福祉法人清瀬わかば会

小室謙二

遺伝子の染色体の病気が原因で顔の先天性骨形成不全症候群の子供を題材にした

「ワンダー 君は太陽」という映画がある。この障害は「トリチャーコリンズ症候群」

と呼ばれ、顔の骨形成が不全のため目が垂れ下がり見た目独特な様相を示している。

5万人に1人の確率で生まれ、家系に発症者がいる場合は遺伝性で2分の1、家系に

発症者がいない場合は、「孤発性」と言われる染色体の変異であることが明らかに

なっている。

また、顔の骨形成不全であるが、手足の機能障害がなく、命の危険性もないことから、法律、教育、医療面での支援制度が皆無であることから、容貌面での悩みとなることも少なくない。

なぜ、この障害に興味を惹かれたかというところ、2か月程前の朝日新聞に「マイブエイス、マイスタイル」という見出しの記事が掲載されたことです。この記事の中では、他に「単純性血管腫」という顔に紫色の痣が表れる障害者や「顔面神経痛・先天性無毛症・アルビノ・熱傷・口蓋裂・小耳症・アトピー性皮膚炎等々」と「見た目問題を抱えた当事者が情報発信し、メディアにも登場してきたので、人々の見る目も変わってきた。」との関係者の談話が掲載されていたからです。また、この障害の当事者である筑波大学大学院で聴覚障害を研究している「石田祐貴さん(25歳)」は、幼い時から好奇の眼差しに晒され「宇宙人」「変な顔」等々面と向かって心無い言葉をかけられた。そんな時、石田さんを支えたのは「私はあなたがこの状態で生まれて良かったと思っている。それがあなただから。」という母親の言葉だったという。

私も生後8か月の大晦日の夜に事故で、頭の3分の1に火傷を受けました。小さい頃はそんなに気にしていなかったのですが、小学校に入学した頃、同じクラスの子に「気持ちが悪い。」「お化けみたい」等々と言われ、「学校に行きたくない。嫌だ。」と母に泣きついた経験があります。

わたし はは いしだ ははおや つよ ころろ ひと な
私の母は、石田さんの母親のような強い心の人ではなかったので、泣きじゃく
わたし だ くだ たの い いっしょ な よくじつたんになん せんせい
る私を抱きしめて「ごめんよ、ごめんよ。」と一緒に泣き、翌日担任の先生に「い
じめないで下さい。」と頼みに行きました。そんな姿を見て「この人(母)この事で
かな けつい しょうらい しごと ひと
悲しませてはいけない。」と決意しました。そして、将来の仕事として「人のため
しごと いしゃ のぞ ちゅうがくせい とき しきかくいじょう しきじゃく
になる仕事」として、医者を目指していましたが、中学生の時に、色覚異常(色弱)
み とうじ しんろほうしん りこうけい しんがく あきら え
が見つかり、当時の進路方針により理工系への進学を諦めざるを得ませんでした。
ちゅうがく こうこう じゅう せいしゅん す だいがく すす じぶん い かた だいがくせいかつ
中学、高校と自由な青春を過ごし、大学へ進むときに、「自分の生き方を大学生活
なか み もくひょう た ねんせい とき げんご ちょうりょくしょうがいしゃ
の中で見つける。」という目標を立て、3年生の時に、「言語」から「聴力障害者
しゅわ じゅうどしょうがいしゃ せいかつしえん すす こんにち ふくし しごと つづ
の手話」。そして「重度障害者の生活支援」へと進み、今日の福祉の仕事へと続き
ました。



相談支援事業の充実に向けて
～相談支援専門員からのお願いごと～

社会福祉法人六三四評議員

小平市障がい者地域自立生活支援センターひびきセンター長

塚本英昭

障害者の相談支援を担い手として相談支援専門員がいます。相談支援専門員の

役割期待は大きいですが認知はまだ低い状況にあるようです。

そんな悩みから、紙面をお借りしてお願いごとをお伝えさせていただきます。

相談支援専門員の業務の1つに指定特定相談支援、指定障害児相談支援というサ

ービス利用計画等をつくる計画相談があります。支援の充実には、障害者ご本

人のことを知り支援の実際を知る必要があります。しかしながら、現場に行くと

相談支援専門員への理解や信頼は事業所で様々で、契約書の内容はもちろん、個別

支援計画1つ情報を頂けないことが多くあります。そこで、障害福祉サービス

の提供事業所やその他の支援機関(以下、「事業者等」といいます。)

ねが こと じぎょうしゃとう みな りようしゃ せつめい
にお願いしたい事があります。ぜひ、事業者等の皆さんからも利用者に説明し
ていただき、けいやくしょ しえんけいかくしょとう わたしたち いただねが こうせい
労働省も『平成30年度障害福祉サービス等報酬改定の概要』の中で「なお、
モニタリング時以外にも、じ いがい そうだんしえんせんもんいん ひつよう おう しえん ずいじじっし
よう、サービス提供事業者は毎月のサービス利用状況を指定特定相談支援事
業者・指定障害児相談支援事業者（以下「指定特定相談支援事業者等」とい
う。）に報告する。」と言っています。きっと、新たな連携の明日が見えると思
います。

つづ りようしゃ みな き いま そうだんしえん かた よう かん
続いて利用者の皆さんに、お聞きします。今の相談支援のあり方はどの様に感
じますか。おな にほん なか こうれいしゃふくし かいごほけんせいど しょうがいふくし しょうがいふくし
サービス制度の違いはあるとも、せいど ちが しょうがいふくし すこ あと ある おも とき
障害福祉は少し後を歩いていると思う時があり
ます。そうだんしえんせんもんいん に やくわり かいごほけん かいごしえんせんもんいん い か
相談支援専門員と似た役割として、介護保険では介護支援専門員(以下、
ケアマネ)がいます。

たんとうけんすう へいせい ねんちょうさ じょうきんかんさん り あ けん いこう
ケアマネ担当件数は、平成23年調査で常勤換算1人当たり26.8件で以降は
すうねん ふ い か やくわり しせつ わ
数年増えていますが、以下のとおり役割を施設で分けています。

1 きょたく 居宅 (1) きょたくかいごしえん ようかいご かいごしえんじぎょうしょ 居宅介護支援 要介護 (介護支援事業所)

じょうきんかんさん り あ けん
ケアマネ常勤換算1人当たり33.4件

基準：常勤ケアマネ1人以上、35件/人上限

モニタリング：毎月

(2) 介護予防支援 要支援 (地域包括支援センター)

基準：保健師その他知識を持つ職員必要人数

※居宅介護支援事業所に委託可

モニタリング：3か月

2 施設 (1) 施設介護支援 要介護 (介護老人福祉施設)

基準：常勤ケアマネ1人以上

モニタリング：定期的

障害福祉の相談支援専門員にはこうした基準や役割分担が未だ整っていません。

対象者が居宅だけでは無く、入所された方のもとへ他県まで往復400キロ車で走

って相談支援に行く事もありました。制度が充実するために、支援者が支援し続け

られる環境づくりも利用者の皆さんと話をする必要があると思います。

この他にも、地域で重層的な相談支援 (①第一層・計画相談支援、②第二層・委託

相談支援、③第三層・基幹相談支援) 体制を構築できると、より皆さんの生活に寄与

できるのではと考えています。

社会福祉法人六三四さんは、そんな地域福祉の課題を話し合いながら進められるミ

ッションをお持ちのようなので、今後も協働していきたいと思っています。

職員、利用者の皆様、お力をおかしてください。どうぞ宜しくお願い致します。

ひょうぎいんしゅうにん あいさつ
評議員就任のご挨拶

しゃかいふくしほうじん む さ し ひょうぎいん
社会福祉法人六三四評議員

いりょうほうじんざいだん あかつき り じ
医療法人財団 暁 理事

だいびょういん じ む ちよう おおたみちひろ
あきる台病院 事務長 太田道宏

たび しゃかいふくしほうじん む さ し ひょうぎいん しゅうにん おおたみちひろ もう
この度、社会福祉法人 六三四の評議員に就任いたしました太田道宏と申し

りじちよう やまぐちせんせい どういん い し きんむ いただ
ます。理事長の山口先生とは、当院のリハビリの医師として勤務して頂いてか

つきあ いま しっかんべつ しせつきじゆん つうしょ ほうもん
らのお付き合いとなります。今でこそ疾患別リハビリの施設基準や通所・訪問リ

てんかい どうじ り がくりょうほうし めい たいせい
ハビリを展開していますが、当時は理学療法士が1～2名というような体制で

やまぐちせんせい どういん き そ きず いただ かんしゃ
した。山口先生には、当院 リハビリの基礎を築いて頂き感謝しております。

こだいら ほうもん てんかい やまぐちせんせい かいせつ
また、小平での訪問リハビリの展開は、山口先生がクリニックを開設すると

さそ いただ じ き り じ やまぐち あ どうじ しゃかい
きお誘い頂きました。その時期に理事の山口さんとお会いし、当時から社会

しげん いりょう しょうがいぶんや れんけいとうあつ かた おも だ
資源や医療と障害分野の連携等熱く語られていたのを思い出します。

しょうがいふくし ぶんや ふべんきよう みなさま まな いただ いりょうぶんや
障害福祉の分野は不勉強ですので、皆様から学ばせて頂きながら、医療分野

そくめん やく た ぶりょく じんりょく かんが
の側面からお役に立てるよう微力ながら尽力してまいりたいと考えておりま

なにとぞ よろ ねが もう あ
す。何卒、宜しく願い申し上げます。

ちいきせいかつしえん
地域生活支援センターあさやけの
とく
取り組みについて

しゃかいふくしほうじん む さ し ひょうぎいん
社会福祉法人六三四評議員

しゃかいふくしほうじん かいちいきせいかつしえん しょちょう
社会福祉法人ときわ会地域生活支援センターあさやけ所長

いとうよしなお
伊藤善尚

わたし こだいらげんきむら ちいきせいかつしえん つと ぎょうむ
私は、小平元気村にある地域生活支援センターあさやけに勤めています。業務

ないよう おも せいしんしょうがい も かた せいかつそうだん う
内容として、主に精神障害を持つ方の生活相談を受けたり、オープンスペース

とうじしゃどうし こうりゆう ていきょう ひつよう かた ほうもん どうこう
での当事者同士の交流の提供しています。また、必要な方への訪問や同行を

おこな きんせんかんりとう おこな すうねん しょうがいふくし
行ったり、金銭管理等も行っています。ここ数年は、障害福祉サービスを

りよう かた とうりようけいかく さくせい せいしんびょういんとう なが
利用する方へのサービス等利用計画の作成やモニタリング、精神病院等に長く

にゅういん かた ちいきせいかつ しえん せいしんてき なや
入院している方に地域生活をしてもらう支援もしています。精神的な悩みを

も かた ねんねん ふ かん ところ びょうき おな
持つ方が年々増えているように感じています。心のケアもどの病気とも同じ

で き はや せんもんきかん そうだん かいふく はや
ように、出来るだけ早く専門機関に相談されると回復も早いようです。「この

ごろ ねむ しょくよく
頃、あまり眠れないな～、すっきりしためざめではないな～」 「食欲もずっと

ないな～、あまり食べる気がしない」等々を感じていたらご相談してみてください

こんご せわ ねが
さい。今後もいろいろとお世話になりますがよろしくお願いいたします。



今後の予定

- 11月19日(月) メンバー懇談会
- 11月23日(金) 勤労感謝の日・開所日
- 12月14日(金) 忘年会
- 12月18日(火) メンバー懇談会
- 12月24日(月) 振替休日・開所日
- 12月28日(金) 御用納め
- 1月7日(月) 通所開始
- 1月14日(月) 成人の日・開所日
- 1月16日(水) メンバー懇談会
- 1月25日(金) 六三四・雅たより発行
(毎週金曜日) 個別理学訓練(秋葉PT)
- (毎週月・水・木曜日) 個別理学訓練(寺田PT)

10月に六三四・雅ともに日帰り訓練旅

行で群馬サファリパークに行ってきました

た。大型バスで園内を回り美味しいお弁当

を食べました。次回も楽しい企画を計画さ

せて頂きます。よろしくお願ひします。



